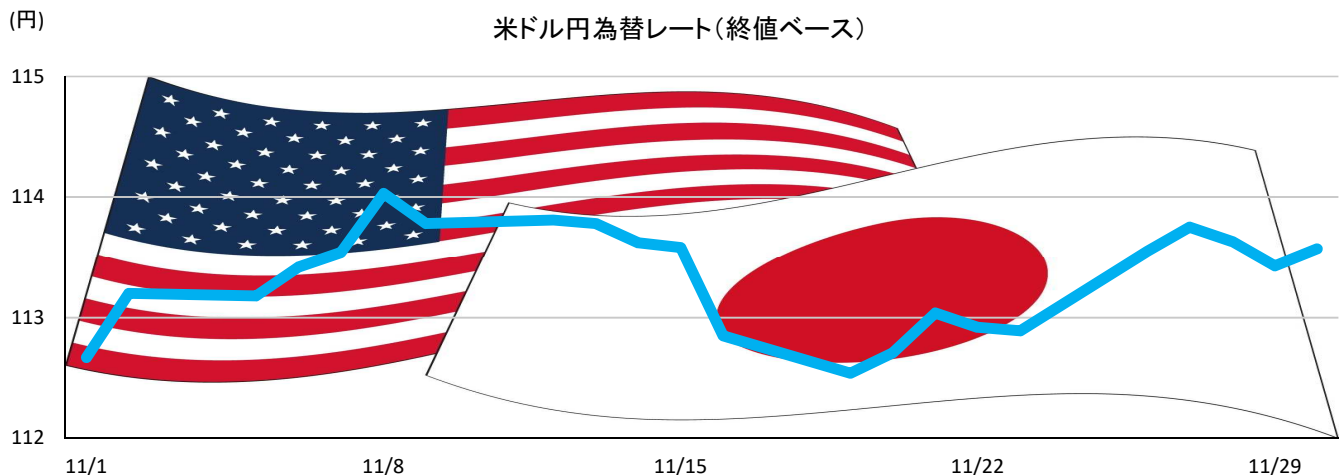


MARKET REVIEW

先月の振り返り: 11月のドル円相場は114円前半～112円半ばで推移。前半は米国中間選挙の開票結果に一喜一憂する場面もあったが、想定内の結果だったことでドル高基調は続いた。その後は日米貿易問題と米中貿易問題が再度クローズアップされたことや英国のEU離脱問題で欧州不安が台頭したことによりドル高基調が一服することに。さらにイタリアの財政問題が追い打ちをかける形でユーロ安ドル高となり、ある程度持ち直してきたものの、パウエルFRB議長による利上げ終了の前倒しを示唆する発言が嫌気され、ドル売りの流れで11月を終えた。ただ月間でみるとドル円変動幅は2円にも満たなかったことが示すように、欧州通貨の変動幅に比べるとおとなしめだった。



EXTRA VISION

今後の展開: パウエルFRB議長が前倒しで利上げ終了を示唆したことで、ドル相場が頭打ちになってきた。元々利上げ期待感からの株高、ドル買いだったこともあり、ある程度想定内といえる。ただ、ここに来て欧州不安が台頭してきたことで、マーケットの関心事が欧州通貨に移ってきている。しばらくは欧州情勢に注視しておきたいところだが、米国経済減速懸念もあり、ポジションの取り方が難しい。年末に向けて取引量が少なくなることから、短期的な動きに対処しつつ、年明けに向けて備えておくべきだろう。

今月の主な経済指標 ※ 日本時間

日付	時間	国	指標名	重要度
12 / 21 (金)	18 : 30	GB	英GDP改定値	☆☆☆☆
12 / 21 (金)	22 : 30	US	米GDP確定値	☆☆☆☆
12 / 28 (金)	0 : 00	US	新築住宅販売件数	☆☆☆☆
1 / 3 (木)	22 : 15	US	ADP雇用統計	☆☆☆☆
1 / 4 (金)	22 : 30	US	米雇用統計	☆☆☆☆☆
1 / 11 (金)	22 : 30	US	消費者物価指数 (CPI)	☆☆☆☆
1 / 16 (水)	22 : 30	US	小売売上高	☆☆☆☆

本書面は、合同会社フィナンシャルヴィレッジプレゼンス(以下「当社」)が、投資一般に関する情報提供を目的とするものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。本書面に記載されている情報には将来的な業績や出来事に関する予想が含まれていることがありますが、それらの記述はあくまで予想であり、その内容の正確性、信頼性等を保証するものではありません。また、情報の正確性については万全を期しておりますが、その正確性、信頼性等を保証するものではありません。投資に関するすべての決定は、ご自身の判断でなされるようお願い致します。本書面に記載されている情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切の責任を負いません。